

令和元年度 小林市立小林小学校 学校関係者評価書

4段階評価	4 期待以上	3 ほぼ期待どおり	2 やや期待を下回る	1 改善を要する
-------	--------	-----------	------------	----------

学校経営 ビジョン	家庭・地域との協働により、一人一人の子どもの実態を把握・共有し、個に応じた支援を行いながら知恵・声・汗を出す姿を見届けることを通して、自ら行動できる（学び、思いやり、きたえる）子どもの育成を目指す。
--------------	---

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析および改善策等	自己 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
知 育	重点目標 自ら学ぶ子どもの 育成	1について ○ 児童のアンケートによると「地域や社会への関心」は、73%が肯定的な意見で昨年度と同等であり、保護者のアンケートでは71%が肯定的な意見であった。 ○ 職員のアンケートでは、「授業等で、身近な出来事や報道、人材や企業を活用」については肯定的な意見が65%で昨年度より増えており、授業や行事との関連で積極的に地域人材を活用することができている。 ◇ 地域や社会の情報活用については、目標値を上回ることができなかった。今後は、キャリア教育推進の視点からも取組を更に充実させていく必要がある。	3	3	○ 「地域や社会への関心」の項目については、今の大人社会が個人の利益になるものには関心を示すが、そうでない事には関心を示すことが少ないように思える。そのような中においてこのような評価が出ていることに感心する。コミュニティスクールの活動を今後は形式的なものでなく、もっと具体的に活動できる内容にした方がよいのではないかと思う。 ○ 保護者が、積極的に話をするべきだと思う。 ○ 小林のふるさとのよさを実感し、ふるさとを愛し、ふるさとに自信と誇りをもてる子どもの育成をめざした「ふるさと教育」の充実をめざした取組を願います。 ○ 「地域や社会への関心」が70%台では物足りない。自分の生活している地域にもっと関心を持ってほしい。目標値を80%以上に設定するべきである。
	手段 1 地域や社会への関心を高める。	2について ○ 児童のアンケートによると「授業中に自分でしっかり考えて発表したり、答えたりしていますか。」の問いに74%が肯定的な意見であった。 ○ 職員のアンケートでは、「授業中に自分の考えをしっかりとまとめる指導をしていますか。」の問いについては肯定的な意見が85%であった。 ◇ 日々の授業の中で必ず「学習のめあて」を設定して学習を進めているので、児童は、めあてを意識した学びができている。これからも目的・課題意識をもたせながら学習に取り組ませていく。			○ 学習内容を一人一人の児童が理解できるようにするための学校側（教師）の努力に敬意を表したい。児童それぞれ能力に差があるのはあたり前であって、全ての到達点が同時でなくてもよい。 ○ それぞれの学年に応じて「めあて」が提示してあるのはよいと思う。 ○ グループやクラスの子と協力したり、意見をまとめたりして素晴らしい。 ○ さらに学力の向上を図ってほしい。 ○ 児童と職員とのアンケートの値が10%程違う。大きな差ではないが、その差が小さくなればなるほどよい授業になる。
	3 主体的に考え、判断し、表現する力を高める。	3について ○ 児童のアンケートによると「授業はよく分かる」の問いに対して88%が肯定的な意見であり、「難しい問題を周りと話し合いながら解決」の問いに対して82%が肯定的な意見であった。 ○ 職員のアンケートでは、「授業の中で学び合う場と時間を保証」については肯定的な意見が81%であった。 ◇ 児童は授業に意欲的に取り組み、日々学力向上に努めている。学び合いの学習も積極的に取り入れ、活発に自分の意見を言うことができる児童も増えている。Web評価システムも100%の活用ができている。			○ これまでの学習内容の他に、社会のニーズに合わせて学校側にも新しく学習内容がプラスされてきているが、教師や児童の負担が増えてきているのではないか。 ○ 個人差がある。 ○ みんなが思ったことや意見を率直に言えるといい。 ○ 思考・探求的な学習の取組の充実を進めてほしい。 ○ 自分の意見を言うためには、主体的に考え、表現しないといけない。まずは、自分で考える力を伸ばすことが大事である。

